

妙法華寺便り

令和7年12月号

いのちに合掌

2031年・日蓮聖人の750遠忌に向けてお題目を唱えていきましょう。



和尚さんのよろず話

早いもので今年も残すところ10日ほど、あっという間に新年を迎えることとなります。皆さん準備はいかがでしょうか？



さて、先日、日蓮宗宗務所から「日蓮聖人と正月」と題した葉が届きました。それには、弘安五年正月に日蓮聖人が四条金吾殿に宛てた手紙の一節が書かれています。

「春の始めの御悦は月のみつるがごとく、潮のさすがごとく草のかこむが如く、雨のふるが如しと思食すべし。」

聖人は自然界にある満ちていく現象にたとえ、「お正月」を「春のはじめのおよろこび」と捉えられました。

新年は「心機一転」の時ですね。新しいものを入れるためには、古いものを捨てることも大切です。干支の初め「子」という漢字は「了=おわる」と「一=はじまる」という意味もあるそうです。心の働きも想いも新たにする事で、文字どおりに「春のはじめのおよろこび」とすることができます。

日蓮聖人は他にも、「正月の一日は日のはじめ、月の始め、としのはじめ、春の始め。此をもてなす人は月の西より東をさしてみつがごとく、日の東より西へわたりてあきらかなるがごとく、^{とく}徳もまさり人にもあいせられ候なり」と言われています。これは信者の方から的心づくしの手づくりのお餅などがお正月の御供として届けられた事への御礼のお手紙の一節です。「正月の一日は、日の始め、月の始め、としの始めであります。この日を正法をもって祝う人は、月が（その出る位置が）西から東に向かうにしたがって満ちるように、また日が東から西へ渡っていくにしたがって明らかになるように徳も勝（まさ）り、また人々にも愛される」と。

さて、当山では昨年より檀信徒へ年賀状に替えて、新年の挨拶として各家の繁栄を願い、同封の門松の絵と文書をお送りしております。来年は丙午一白水星の歳です。輝く一年となりますよう祈念申し上げます。どうぞ良い年をお迎え下さい。

本年も一年間、無事に過ごさせていただきました。諸天善神と檀信徒の方々並びに各家のご先祖様に感謝いたします。ありがとうございました。 合掌

◇ 行事報告 ◇

11月15日（土）日蓮聖人御会式御遠夜

11月16日（金）御会式・摩利支天月例祭執行

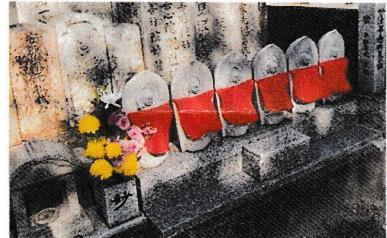
日蓮聖人第744回の御会式を15日午後6時より遠夜の式典、翌日は午前10時の法要に引き続き摩利支天月例祭を執行し、午後2時に最終の法要式を、檀信徒の方々と共に執り行いました。組寺からは、大坊・不变院様と正善院様がご参拝くださいました。2日間に渡る式典の準備、当日のご接待、片付けをして下さった皆様、ありがとうございました。

なお、来年からは御遠夜の式典はありません。日曜日の御会式当日にお越し下さい。



六地蔵様

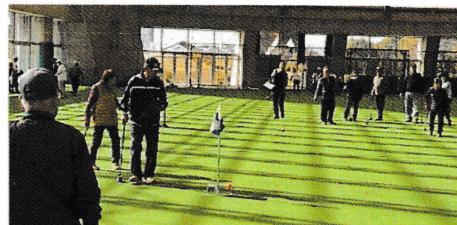
妙法華寺供養塔台地に六地蔵をお祀りさせて頂き5年となりました。今年も色あせた誕掛けを新調させて頂き、一読させて頂きました。



11月10日（月）宗務所主催グランドゴルフ大会

11月12日（水）庭瀬組寺主催グランドゴルフ大会

檀信徒各位と協賛事業者の方々とグランドゴルフ大会が開催されました。



◇ 行事案内 ◇

除夜の鐘

1月1日（木）午前零時を合図に、お寺の鐘を108回撞きます。

集合時間は、31日午後11時50分です。除夜の鐘について、清らかな気持ちで新年を迎えましょう。

摩利支天大祭

新年は1月18日（日）午前10時より執行いたします。

開運星祭（厄除け祈願）

2月4日（水）午前10時より本堂にて執行いたします。

「大摩利支尊天」の御神力をいただき「年中安全」の御守護が受けられるように、厄除け諸難除けの特別祈祷を行いますので、是非、お申し込み、ご参加ください。なお、お申し込みをされて、当日ご参加出来ない方は、後日お札をお送りいたします。

御札等の跋魂祭

2月18日（水）午前10時より本堂にて跋魂祭と摩利支天月例祭を執行します。

これは、古い御札や塔婆・予めお預かりした位牌などの魂を抜いて自然のものへと戻って頂く儀式です。古いお札や塔婆などございましたら、お寺へお持ちください。